

中央委員会宣言

私たちは、積年の夢であり目標であった組合員 10 万人を、今日ここに達成しました。この成果をすべての県本部・支部・組合員とともに喜びあいたいと思います。

「全国は一つ」と組合員が心を結集し、がんばりぬいて達成した 10 万人組合の成果は、歴史的な画期をなすものです。一段と高齢化がすすむ社会の中で、高齢者の生活と権利を守る運動を進め、高齢者の全生活を担う年金者組合が、10 万人の地歩を築いた意義はたえようもなく大きなものがあります。

鳩山首相が小沢幹事長と共に辞任しました。これは、国民を裏切り続けた末の行き詰まりで、退場に追い込まれたものです。ところが菅内閣は、何の反省もなく「日米合意」の尊重を早々と宣言したのを始め、国民を裏切り続けた政治を改める気配がありません。

消費税増税では、増税のための超党派の「財政健全化会議」を提案するなど消費税増税へと大きく舵をきりました。後期高齢者医療制度では、廃止の声に耳を貸さず、年齢を 65 歳に引き下げようとする動きを強めています。

高齢者にとって医療と年金は命綱です。70 歳以上の医療費を無料にした自治体もあります。誰でも安心して医療が受けられる医療制度を求めて取り組を強めましょう。消費税によらない、最低保障年金制度を実現さしましょう。目前に迫った参議院議員選挙に全力で取り組みましょう。

私たちは、本中央委員会で確認した方針に基づき 10 万人組織の力を発揮し要求実現の大きな運動を推進するとともに、10 万人を土台にさらに一日も早い 20 万人、高齢者人口比 1% の組織とするため、いっそう奮闘します。

以上宣言します。

2010 年 6 月 15 日

全日本年金者組合第 25 回中央委員会